

2026 年1月31日

TA心理カウンセラースーパービジョン実施要領

特定非営利活動方針日本交流分析協会
TA心理カウンセリング委員会
資格認定委員会

TA心理カウンセラー(以下、スーパーバイザーという)は、下記に則ってスーパービジョンを受けるものとする。また、スーパーバイザーは、下記1. に則ってスーパービジョンを行うものとする。

記

1. スーパービジョンの指針

TA 心理カウンセラーのスーパービジョンは、別に定める「TA 心理カウンセリング・スーパービジョン指針」(別紙2)に基づいて行う。

2. スーパーバイザーの認定・任期

- ① スーパーバイザーは TA 心理カウンセリング委員会に置いて推薦し、資格認定委員会がこれを承認する。
- ② スーパーバイザーの任期は一年とし、本人または TA 心理カウンセリング委員会、資格認定委員会からの特段の申し出がない限り自動更新される。
- ③ TA心理カウンセリング委員会は、認定されたスーパーバイザー名をTA心理カウンセラー(スーパーバイザー)に周知する。

3. 資格更新のためのスーパービジョンの方法

- ①スーパービジョンを希望するスーパーバイザーは、「逐語記録」または検討したい「事例」をまとめ、準備する。
(逐語録見本: <https://j-taa.org/mem/pdf/202505TACO 2.pdf>)
- ②スーパーバイザーは本部事務局にスーパービジョンの申請を行う。希望のスーパーバイザーがある場合は、その希望(第 1～第 3 希望)を申し出る。スーパービジョンの料金 5000 円はスーパーバイザーが決定次第、スーパーバイザーの口座に振込み納付する。
- ④ 事務局は、スーパーバイザーにスーパーバイザーの名前と連絡先を伝え、了解を得る。その上で、スーパーバイザーにスーパーバイザーの名前と連絡先を伝える。
- ⑤ スーパーバイザーは、スーパーバイザーに「逐語記録」または「検討事例」を送付する。また、スーパービジョンの方法については、対面・zoom・電話・または書面のいずれかを両者の協議により決定する。
- ⑥ 対面・zoom・電話によりスーパービジョンを行う場合、1 回 50 分以内で完了するものとする。
- ⑦ スーパーバイザーはスーパービジョンが終わると、スーパーバイザーの名前、実施日時、スーパ

ービジョンの方法をTA心理カウンセリング委員長に報告する。特段の問題がある場合は、その内容につき、資格認定委員長に連絡する。

- ⑧ TA心理カウンセリング委員長はスーパーバイザーの終了につき、スーパーバイザー名、日時、スーパーバイザー名、スーパービジョンの方法につき、本部事務局に報告する。事務局はTA心理カウンセラー資格更新ポイントを付与する手続きを行う。
- ⑨ スーパーバイザーが上記の継続のスーパービジョンを特に希望する場合には、事前にTA心理カウンセリング委員長へ申し出て、承認を得た後実施する。この場合、スーパーバイザーは②の方法により申し込み、1 回につき 5000 円の費用をスーパーバイザーに別途支払うものとする。

(3) スーパービジョンの方法

- ① スーパービジョンの方法は事前にスーパーバイザーに送られた逐語記録または検討事例に基づき、対面・zoom・電話または書面により行う。
- ② スーパーバイザーは、TA心理カウンセリング委員会の推薦に基づき、資格委員会において協会認定スーパーバイザーとして任命する。TA 心理カウンセリング委員会は協会認定スーパーバイザーをスーパーバイザーに周知する。
- ③ スーパーバイザーは協会主催のTA心理カウンセラー・フォローアップ講座に出席して、スーパービジョンを受けることもできる(有料)。その際には、事前に逐語録を提出し、講座内で或いは講座前後にスーパーバイザーからスーパーバイズを受ける。
- ⑥ 逐語録の書き方については、要綱を参考にし、クライアントが同定されないよう細心の注意を払う。

(4) スーパービジョンの費用

- ① スーパービジョンの費用は、1回¥5,000とし、スーパーバイザーがスーパーバイザーに納付する。
- ② フォローアップ講座内で行う事前に逐語録を提出した公開スーパービジョンは、1回当たり¥3,000とし、協会へ納付する。

(5) スーパービジョンの報告の内容

- ① 報告の内容は、スーパーバイザー名、日時、スーパービジョンの方法(対面・zoom・電話・書面)について事務局へ報告する。
- ② 特段の問題がある場合は、その旨を TA 心理カウンセリング委員長に報告する。TA 心理カウンセラー委員長は内容を資格認定委員長に報告する。資格認定委員長は TA 心理カウンセラー委員会と協議し、適切に対処する。

以上

【TA 心理カウンセリング・スーパービジョン指針】

NPO 法人日本交流分析協会
(TA 心理カウンセリング委員会・資格認定委員会)

1. 本指針の目的

本指針は、TA 心理カウンセラー資格制度における資格保有者および受講者のスーパービジョン(以下「SV」)を、協会の資格認定理念・倫理綱領に基づき、適切かつ公平に実施するための基準を定めるものである。

スーパーバイザー(以下「SV 担当」)は本指針に基づき、バイジー(資格保有者)への教育・育成を行い、協会事業としての公正・一貫性と持続可能性を確保することを目的とする。

2. SV 担当に求められる4つの評価視点

SV 担当は、以下の4項目について総合的に評価を行う。

① TA の哲学に基づくカウンセリングの実施

SV 担当は、TA の基本哲学(自律・他尊・OK-OK)に基づき、以下の点を中心にスーパーバイジーのカウンセリング実践を評価する。

- PAC モデルに基づく構造分析の適切な使用
- やりとり分析・脚本分析の倫理的使用
- クライアントの自律を尊重した関わり
- 非操作的・非支配的な姿勢
- カウンセラー自身の自己管理(自我状態の安定)

② スーパーバイジーへの適切な対応

スーパーバイジーのカウンセリング実践が以下を満たしているか評価する。

- 守秘義務・倫理規程の遵守
- クライアントの安全確保
- 過度な介入・越境行為の防止
- 自身の力量を超える事例への適切な判断
- 必要時の連携・紹介(医療・行政等)

③ 経営的観点からの評価(資格管理としての内容明確化)

本項目は、金銭的収支を意味するものではなく、“協会事業としての SV 運営の適切性・持続性・公平性”を評価する。

<スーパービジョン実施基準>

- 規定された「SV1回」の範囲を守った運営
- 不十分な SV,または過剰な添削・複数回 SV の提供を避ける(※希望があれば別途追加申請)
- バイジーに不必要な負担を与えない
- 他 SV との公平性を損なう不十分または過剰サービスを防止

<リスクマネジメント>

- バイジーとの合意形成の透明性
- 越境介入・依存関係の予防
- 記録の適切な管理(守秘義務の確保)
- トラブル時の協会への適切な報告

<SV 制度の持続可能性>

- SV 担当自身の業務過多を避ける
- 過重労働による品質低下の防止
- 協会の資格維持制度の統一性を確保

④ カウンセリングの態度

SV 担当は、バイジーの専門職としての態度や姿勢を、以下を基準として評価する。

- クライアントへの敬意と尊重
- 説明責任と透明性をもった対応
- 感情的圧力・誘導・操作の禁止
- バイジーの自己肯定感を損なわない指導
- 継続的学習への姿勢

3. SV 実施範囲および負荷に関する基本方針

SV 担当とバイジー双方が安心して SV を実施するため、以下の基準を定める。

(1)SV1回で実施すべき範囲(標準)

- 面談(対面、zoom,または電話)または添削指導によるフィードバック(いずれも原則1回)
- バイジー提出物(逐語録・事例等)の内容確認
- 必要な改善点の指摘および改善・学習方針の提示

※詳細な反復添削・複数回の Zoom/電話指導は「追加 SV」として扱う。

(2)過剰指導・過剰要求の防止

以下の行為は、本指針にそぐわないので実施しないこと。

- 1回分の SV 料金で、複数回の面談や詳細な繰り返し添削を行う
- バイジーへ心理的負担となる過度な修正要求
- 他 SV との不公平を生む“無料の過剰サービス”
- バイジーとの密接・依存的な指導関係の形成

(3)追加 SV を希望する場合

- バイジーと SV 担当が合意の上で追加分を「SV 申請フォーム」から申請する
- 回数・目的を明確にする
- 料金は、協会規定料金とし、内容により金額を変更する場合は、1回5000円以内の範囲で申請フォームに明記する
- その他、協会内で統一された取り扱いとする

4. バイジーへの説明責任

SV 担当は、SV の申し込みがあったとき、SV の範囲、目的、方法について、バイジーが理解できる形で事前に説明する。透明性は、バイジーの安心と協会の信頼性につながる。

- 何を評価するのか
- 何が SV の対象外なのか
- 添削・修正はどの範囲までか
- 追加 SV が必要な場合の手続き

5. 協会への報告

SV 担当は SV 終了後、以下を協会へ報告する。

- ・SV 完了の事務連絡を行う(実施日／バイジー氏名／担当 SV/スーパービジョンの方法)。
これにより、事務局は、バイジーの資格更新ポイントを加算する処理を行う。
- ・越境行為、倫理的懸念、重大な安全上の問題が確認された場合のみ、最低限必要な情報を協会へ共有する。
この場合、資格認定委員会が受理し、必要に応じて適切な指導助言を行う。

6. 倫理遵守

SV 担当は、協会倫理規程・カウンセリング倫理綱領に基づき、専門職としての責務を果たすものとする。

7. 附則(導入時対応)

本指針の導入に伴い、既存の SV 担当には以下を周知する。

- 本指針に沿って運営方法の統一を行う
- 過剰サービスによる不公平の是正
- バイジーへの過度な負担を避けるための方針転換
- 必要に応じて説明会を実施する

以上